

報道関係各位

2025 年 11 月 20 日

株式会社トーホー

第2回フェアトレード・ジャパン・アワード コミットメント部門 優秀賞を受賞

株式会社トーホー（本社：神戸市東灘区、代表取締役社長：奥野邦治）は、特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン（以下、フェアトレード・ラベル・ジャパン）が 2025 年 11 月 13 日に開催した「第2回フェアトレード・ジャパン・アワード（Fairtrade Japan Award 2025）」（以下、同アワード）において、「コミットメント部門 優秀賞」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

同アワードは、日本国内でのフェアトレードの普及・推進に顕著な功績があった企業・団体を表彰するもので、フェアトレード・ラベル・ジャパンの設立 30 周年を記念して創設されました。当社は第1回（2023 年）の「セールス（コーヒー）部門 シルバー賞」に続く受賞となります。

当社グループは外食産業への業務用食品卸をコア事業とする一方、70 年以上にわたり、カフェ・レストラン・ホテルといったプロのお客様向けに「toho coffee」のブランドでコーヒーの焙煎を続ける「コーヒーメーカー」でもあります。2003 年からは社会課題解決の一助として、フェアトレードコーヒーの焙煎・販売にも注力しており、その販売量は業務用コーヒーとしては国内トップクラスとなります。

当社は 2025 年 6 月に、国際フェアトレード認証コーヒーの調達量を 2035 年 1 月期までに 2025 年 1 月期比で 1.5 倍に拡大するという目標のコミットメントを掲げ、国内上場企業としては初めて、フェアトレード・ラベル・ジャパンとの間で戦略的パートナーシップを締結いたしました。今回、国際フェアトレード認証コーヒーの調達について長期的な目標を設定、開示したことを評価いただき、「コミットメント部門」において優秀賞を受賞いたしました。

当社グループは今後も「食を通して社会に貢献する」の経営理念のもと、フェアトレード認証コーヒーのさらなる普及推進と認知度向上に努め、持続可能な社会の実現を目指すサステナビリティ経営を推進してまいります。

●当社におけるコーヒーの取り組みについて

1951 年、戦後のコーヒー輸入解禁とともに、「toho coffee」のブランドとして、自社焙煎と販売を開始。以来、カフェ・レストラン・ホテルなど外食産業を営むプロのお客様のこだわりに応える最高の味と香りを追求しています。2024 年度のフェアトレードコーヒーの販売量は 59 トンとなり、同製品の輸送には環境負荷の少ない鉄道輸送を主に利用し、モーダルシフトの推進による CO₂ 排出量の抑制にも努めております。



FSC認証の木材を使用した記念品の盾

【本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先】

株式会社トーホー コーポレート・コミュニケーション部 広報・IR グループ

山下・矢野 TEL：078-845-2523 FAX：078-857-1745